年間授業計画　様式例

高等学校 令和8年度（１学年用） 教科　　芸術科・美術　科目 美術Ⅰ

教　科： 芸術科・美術　　科　目： 美術Ⅰ　　単位数： 2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　E　組

教科担当者：（ AB組：齊藤有里（ CD組：齊藤有里（ EF組：齊藤有里恵）（ 組：　　）（ 組：　　）（ 組：　　）

使用教科書：（「美術１」　光村図書　　）

教科　芸術科・美術　　の目標：

【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化を深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫のある作品表現をするために必要な技能と知識を身につけ、作品を生かしている。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の技術や知識を学び、幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態
1学期	鉛筆デッサン「私の手」 【知識及び技能】 構図の取り方。鉛筆の持ち方。鉛筆の硬度について、グレートーンの作り方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 光と陰影の表現方法について学び、実践する。□ 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に、より良い作品をつくるにはどうしたらよいか考え、取り組む。□	硬度別の鉛筆の特性、構図の取り方、デッサンの基礎知識を学び、実践する。鉛筆でグレースケールを作り、明暗の色幅を学ぶ。陰影の表現、空間の表現を学び、作品に生かす。	○			○	【知】課題の内容を理解し、鉛筆や練り消しゴムの扱い方を学び、実践している。 【思】実物大の手が、机（固くて平らな平面）の上に置かれている。光の方向がわかるような光と陰影の表現がある。鉛筆の粉を擦るのではなく、ハッチングによる明暗の表現がなされている。 【態】作品制作に意欲的に取り組んでいる。課題の提出期限内に提出している。最後まで丁寧に仕上げることができた	○	○	○
	木彫「手鏡」 【知識及び技能】材の種類、木目、彫刻刀の種類について学び、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 彫刻刀の使い方、着彩の方法、やすりの種類と使い方、ニスとワックスの特徴について学び、実践する。　【学びに向かう力、人間性等】 自主的に、より良い作品をつくるにはどうしたらよいか考え、取り組む。	木材の特性、さまざまな木彫の彫り方を学び、木彫にふさわしいデザインを考え、彫り方を工夫してデザインにマッチした凹凸の表現がある作品を丁寧につくる。 着彩にもこだわり、彫りの表現に沿うように考慮する。	○	○		○	【知】課題の内容を理解し、制作に反映させたか。　独自の発想による木彫にふさわしいデザインを構想できている。 【思】デザインにふさわしい彫り方を選び、立体感のある木彫の表現がある。彫りにマッチした着彩の表現がある。□ 【態】作品制作に意欲的に取り組んでいる。課題の提出期限内に提出している。最後まで丁寧に仕上げることができたか。□	○	○	○
							【知】 【思】 【態】			
							【知】 【思】 【態】			
2学期	陶芸「マグカップ」 【知識及び技能】 陶土の種類と陶芸の制作工程、道具の名称と使い方、加飾の方法、釉薬について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 加飾の方法を学び、自分の表現に適した技法で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近なマグカップを観察し、自分はどのようなデザインにするか、そのためにはどのような工程でつくるかを主体的に考え、実践する。□	陶芸の工程の基礎、道具の名称や使い方を学び、板作りによるマグカップを制作する。形の美しさや、どのような加飾にするか等、デザインを考える。	○	○		○	【知】陶芸の基礎工程を理解し、陶土での造形表現を豊かな発想で叶えている。形の面白さや美しさ、加飾のこだわりが感じられ、丁寧につくられている。□ 【思】課題の内容を理解し、制作に反映させたか。 【態】 作品制作に意欲的に取り組んでいる。提出期限内に提出したか。最後まで丁寧に仕上げることができたか。□	○	○	○
	水彩画「名画の中の自画像」 【知識及び技能】 世界中の名画を鑑賞し、構図の取り方について学ぶ。彩色の手順、アクリル絵の具の特徴について学ぶ。□ 【思考力、判断力、表現力等】 アクリル絵の具の特性を生かした表現方法を探求し、自分の表現にふさわしいテクニックを選び表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 モデルとなる自分の顔を名画の中にどのように	古今東西の名画と呼ばれる人物が描かれている絵画作品を鑑賞し、引用したい作品を1点選ぶ。その作品の登場人物を自分に置き換えて、水彩画で描く。たくさんの名画に触れることと、模写をすることで名画の名画たる所以を感じることを目標とする。	○		○	○	【知】課題の内容を理解し、制作に反映させたか。 【思】名画を引用する際の構図の良さ、模写の技術的な高さがあるか。自画像については、自分にどれだけ似ているかではなく、その名画の中にあって、どのような表情がふさわしいか等、作品の全体的なバランスを考えて仕上げてある。 【態】作品制作に意欲的に取り組んでいる。提出期限内に提出したか。最後まで丁寧に仕上げることができたか。□	○	○	○
3学期	ステンシルによる「エコバッグ」 【知識及び技能】 ステンシルについて工程を理解する。ステンシルでデザインする時の注意点について、ステンシルの道具と使い方について、着彩のコツについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのバッグデザインを観察し、どのようなデザインにするか考える。より効率の良い作業手順を考えながら仕上げる。 【学びに向かう力、人間性等】□　エコバッ	ステンシル技法を学び、ステンシルで表現できるデザインを考える。フィルムをカットし、捺染していく方法なので、カットの仕方などの工夫が必要である。形と色彩計画をよく考えて丁寧に仕上げる。	○	○		○	【知】課題の内容を理解し、制作に反映させたか。 【思】形と色彩の面白さ、丁寧な捺染で表現されている。オリジナルの発想があり、布地に染みすぎないよう絵の具の溶き加減しながら仕上げている。□ 【態】作品制作に意欲的に取り組んでいる。提出期限内に提出したか。最後まで丁寧に仕上げることができたか。□	○	○	○
							【知】 【思】 【態】			

動に

配当時数
11
11
15
15
18
合計
70